

あなたに寄り添い、今日も動く！



# よいたまみご通信

第1号  
2018年冬号

発行：依田 眞美子松原市議会議員  
〒580-0044 松原市田井城 2-2-2-402  
TEL&FAX：072-334-2281



## ごあいさつ

多くの皆さまのあたたかいご支援を頂戴し、市議会議員としてスタートさせて頂き、この度『よいたまみご通信』第1号を発行することができました。本当にありがとうございます。当選後かつてない被害をもたらした台風21号の猛威に、改めて防災の大切さを感じ、行政のあり方を考えました。9月20日の臨時議会では、初めて議場に緊張しながら入場しました。第3回定例会では、10月17日初めての個人質問に立ちました。悩みながら内容を考え、5年間支援の必要な子ども達に関わり、教育現場で感じたこと、妊産婦さんから育児に頑張るお母さんをサポートする子育て支援について質問をしました。壇上での質問では緊張感はありましたが、落ち着いて発言することができ、これも折々の先輩議員のアドバイスのお陰だと感謝しています。

1年生議員として、学ぶことが沢山あります。一つ一つ真摯な姿勢で挑戦し、皆様のお役に立てる議員へと成長できるよう、懸命に頑張ってお参りますので、これからもよろしくお願いいたします。

## 平成30年11月8日「平成31年度予算要望書」を澤井市長へ提出 人・街・物づくり 要望49項目（人づくり20項目 街づくり23項目 物づくり6項目）

今年は、地震をはじめ、夏は災害とも言える猛暑が続き、度重なる台風など自然災害にみまわれ、今までにない財政的支出を余儀なくされました。国とも連携し、基礎自治体として自然災害に対する対応も考えなければなりません。

また、少子高齢化に伴う社会保障費の増大等課題が山積するなか、堅実な財政運営が求められています。固有財産の利活用をはじめ民間活力の導入、新たな財源の確保に努め、更なる市民協働のまちづくりを期待し、予算要望書を提出しました。



## 平成30年6月と9月に澤井市長に要望書を提出

### ●学校周辺および通学路にかかるブロック塀の安全対策について

6月18日発生の大阪北部地震において発生したブロック塀の倒壊から緊急点検と対策について、6月20日に要望書を提出。改選後の第3回議会初日10月4日先議にて、学校園のブロック塀の撤去等(約1億9千万円)とともに本市独自の道路に面した危険な「ブロック塀等」の撤去・新設補助金(860万円)を含む松原市の平成30年度補正予算が可決されました。



※新補助制度については、  
広報松原 11月号 P6 参照  
または、QRコードから



チェックして!

### ●小中学校エアコン設置について

今夏の酷暑から子ども達を守るため9月4日に澤井市長・東野教育長に要望書を提出しました。改選後の第3回議会初日10月4日先議にて、小中学校エアコン設置(約7億円)の補正予算を議決しました。

来年の夏までに間に合わせることが急務です。公明党としてネットワーク力を活かし、国会議員と連携した結果、平成30年度国の補正予算が承認され、822億円の自治体を支援する費用が盛り込まれました。



# 個人質問



も期待できると思うので、すべての子どもについての活用も視野にいれ研究をしていく。

☆このノートは、家庭や学校で行きつ戻りつしながら、身につけてきた子どもの暮らしを大切に親から学校や福祉、社会へと巣立つための安心ノートになると思うので前向きに考えてほしい。

**問** げんき塾を、今後拡充していく予定は。

**答** 昨年度、天美校、三宅校を開設したところであり、効果を検証しながら、検討していく。

## 1 教育について(支援教育について)

**問** 各校園での「個別の教育支援計画」の作成状況は。

**答** 支援学級在籍児童生徒は、全員分作成をしており、通常学級在籍で支援の必要な児童生徒も作成を進めている。通級を受ける児童生徒にも作成が義務付けられているので、今後も作成と活用を指導していく。

**問** 支援教育の理念を生かしての子ども理解が大切なことだと考えるが、経験年数の少ない教職員への手立ては。

**答** 支援教育に限らず、専門性を高めるために、研修を積むことは重要であり、年間を通じた連続研修を実施している。今後も、有効な研修で、教職員の資質を高め子どもたちへの豊かな関わりに繋げていく。

**問** 教育支援員、介助員の配置状況・効果について

**答** 教育支援員は、全小中学校に配置、介助員は16名を配置しており、支援の必要な児童生徒に応じた支援を行う中で、落ち着いて学び持てる力を高めることで生活や学習上の困難を改善することに繋がっている。

**問** 発達に課題のある児童生徒の数が年々増加傾向の中、今後どのような支援を考えているか。

**答** 平成30年度より通級指導教室と同等の教育を行う学校教育活動支援員を2名配置し、きめ細やかな支援に努めている。今後も支援の充実に向けて、国や府の関係部署に働きかける。

☆子どもや保護者のため、少しでも早い時期に障がいを見つけることができるような努力をお願いしたい。

**問** スムースに支援者に伝える為に、折々の支援や発達の記録を保護者がつけるノートがあれば。

**答** 関係機関への説明に使うことで、保護者の負担軽減にもなり、子どもの成長を記録することで、家庭での関わり方の変化

## 2 子育て支援について



**問** 松原版ネウボラの入り口となる妊娠期からの新たな取り組みは。

**答** 本年8月より妊娠届提出時、妊婦自身に対するアンケート項目の追加やアセスメントシートを用いて支援の必要性によりきめ細やかな対応を行っている。ネウボラ実施の要件である支援プラン作成に向けての準備を進めている。

**問** 現在の子育て支援センターの利用促進に向けての取り組みは。

**答** 妊婦の方同士が友達をつくり、出産や出産後の悩みを共有し、不安感を軽減するプレママの会を子育てネットやシティメールを通じて周知、実施している。出産後、子育て支援センターを利用すると「子育てすくすくポイント」が付与される。

**問** 産後ケアの内容と、そのような方への支援への考えは。

**答** 産後、家族から十分な支援が受けられず、体調や育児に不安のある方に、医療機関などで、授乳のケアや育児相談、母親の心身のケアをし、健やかな育児ができるようにすること。現在は、こんにちは赤ちゃん訪問事業として、保健師などの専門職が、4ヶ月までの間に全家庭の自宅等を訪問し、支援の必要な方に対応をしている。

**問** それらの事業を進める上での課題は。

**答** 情報の共有も含め、関係部署がより連携し、全庁的な視点で取り組んでいくことが必要。

★今回の質問(教育・子育て)は、切れ目のない支援というのがキーワード。より良い方向に進めていただきたい。



東新町2丁目

▲止まれの標識が見えにくいため剪定

▼水路の草が生い茂り視界が悪く除去



東新町1丁目



田井城4丁目

▲街頭演説を実施▶



▲麒麟草の除去

## よりのまみの 活・動・報・告

### 市長より感謝状が贈呈!



11月3日松原市より新町さわやかグループに感謝状が贈られました。10年4ヶ月、西除川の土手を清掃して下さってます。

